

# すまいるたうん



発行元  
東京新聞  
南千住東口専売所  
5850-3699  
発行責任者  
鬼塚 佳代子  
090-2657-0300

## 野良猫を増やさないために 荒川地域猫ボランティア



### 「猫の多さにびっくりしました」

荒川地域猫ボランティア代表の荒牧幸恵さんは船橋から引越してきて、野良猫を増やさないために活動されています。

### 「不妊・去勢手術が必要です」

活動を始めて12年になります。始めの10年は猫好きの仲間と自費で野良猫を捕獲して不妊・去勢手術を行って来ましたが個人で行うには、金銭的・人的に限界があります。荒川区にかけあつてボランティアを募集し、6百人近くの方が活動されており、助成金も受けられるようになりました。

荒川区では飼い主のいない猫の不妊・去勢処置に要する費用の助成としてメス猫1万7千円（妊娠中 2万5千円）オス猫1万円が受けられるようになりました。ボランティアにより約2千匹ほどの猫の不妊手術が済んでいます。

猫は餌を絶つても繁殖能力は損なわれません。1回の交尾ではほぼ100%、2〜8匹の子猫を生み、1年に2回、出産が可能です。生後4ヶ月の子猫も出産が可能です。計算上では1匹のメス猫が1年後

には20匹以上の子猫・孫猫をもつことになり、手術を受けた外猫は短命です。手術すること、猫は子孫を増やさずに一代で終り、繁殖がなくなります。メス猫では、発情期の鳴き声の防止になり、オス猫は、メス猫を求めて放浪することがなくなるので、ケンカが減ります。

飼い主のいない猫が全国の自治体で約20万頭の猫が収容され、その多くが殺処分されています。また殺処分される猫のほとんどは、不妊去勢手術をされていないために生まれた、生後間もない子猫です。

東京都動物愛護相談センターでは平成23年度<sup>1,987</sup>匹が殺処分されています。

### 「朝5時にお掃除に回っています」

荒川地域猫ボランティアでは、毎朝、ふん尿のお掃除に回る方、夜に餌やりに行く方と分担され、それぞれが自分の持ち場の猫を管理しております。生き物が相手ですから、休むことはできません。

### 365日活動しております。

飼育放棄された猫、高齢者が施設に入所して行き場のなくなった猫をどうするか、今後の大きな課題となっています。

### 「苦労様」

活動を始めたころは、迷惑だと苦情を言っていた住民の方も笑顔で活動を見守つ

てくれるようになりました。ボランティアの皆さんは、夜の餌やりも食べ終わつた皿の回収もその日のうちに行っており、まだ、手術を受けていない猫を捕獲して、翌日病院に連れて行き、手術を行っております。捕獲もすぐに出来るわけではなく、待ち続けてやっとなります。

また、ノラ猫から飼い猫へと猫の里親探しも行なっています。駆虫（ノミ・シラミ）・シャンプーで美猫にしてお渡ししております。

地域猫活動は、猫の問題ではなく、「地域の環境問題」です。不妊手術の徹底、里親探しなどを積極的に行い「猫を減らすこと」を目的とすることが必須だと思えます。

### 「大目に見てください」

ノラ猫による、ふん尿や鳴き声などで困っている方も多いと思いますが、こんな活動で地域の環境が良くなっています。町会で、ノラ猫の不妊・去勢手術に協力してみませんか。

### 【里親募集中】

元気いっぱいの人見知りしない、かわいいキジトラ模様と茶白と白八まゆのオス猫達、現在3匹います。シャンプー 済み・駆虫済みの美猫です。



連絡先 荒川地域猫ボランティア  
090(2904)0351